

聖隷横浜病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	JROAD/JROAD-DPCを用いた急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼにおける重症化因子・治療法 解明のための多施設登録研究
当院の研究責任者	芦田和博
他の研究機関および 各施設の研究責任者	研究代表者☒海泰栄 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 【共同研究機関および研究責任者】 隈病院（赤水尚史），京都医療センター（田上哲也），社会医療法人近森会近森病院（細田勇人），東邦大学 医療センター大森病院（木内俊介），北里大学病院（阿古潤哉），日本医科大学付属病院（中田淳），東京都 立多摩医療センター（田中博之），横浜市立大学附属 市民総合医療センター（岩橋徳明），静岡県立総合 病院（坂本裕樹），静岡市立静岡病院（縄田隆三），東北医科薬科大学（熊谷浩司），日本赤十字社愛知医療 センター名古屋第一病院（嶋野祐之），大阪警察病院（樋口義治），東京医科大学（中野宏己），いわき市医 療センター（杉正文），日本医科大学千葉北総病院 白壁章宏），大垣市民病院（森島逸郎），SUBARU健 康保険組合太田記念病院（安齋均），山形県立中央病院（高橋克明），日本赤十字社前橋赤十字病院（藤塚 健次），仙台市立病院（三引義明），東京済生会中央病院（高橋寿由樹），近畿大学医学部（中澤学），長崎 大学病院（前村浩二），宮崎大学医学部附属病院（海北幸一），京都第二赤十字病院（白石淳），国保旭中央 病院（櫛田俊一），東北大学病院（安田聡），岩手県立中央病院（遠藤秀晃），市立長浜病院（高島弘行）， 天理よろず相談所病院（田村俊寛），山梨県立中央病院（梅谷健），埼玉医科大学国際医療センター（中埜 信太郎），佐賀大学医学部付属病院（園田信成），愛媛県立中央病院（岡山英樹），聖隷浜松病院（鈴木利 章），神戸大学附属病院（久松恵理子），住友病院（安賀裕二），滋賀医科大学医学部附属病院（中川義 久），一般財団法人厚生会仙台厚生病院（多田憲生），大崎市民病院（岩淵薫），
他の研究機関および 各施設の研究責任者	土浦協同病院（蜂谷仁），草加市立病院（稲垣裕），獨協医科大学埼玉医療センター（橋本貢士），東京女子 医科大学病院（山口淳一），日本赤十字社武蔵野赤十字病院（足利貴志），昭和大学藤が丘病院（鈴木洋）， 聖隷横浜病院（芦田和博），新潟大学大学院医歯学総合研究科（猪又孝元），信州大学医学部附属病院（桑 原宏一郎），藤枝市立総合病院（尾畑純栄），公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院（猪子森明），兵 庫県立はりま姫路総合医療センター（高谷具史），日本赤十字社和歌山医療センター（静田聡），川崎医科 大学附属病院（上村史朗），倉敷中央病院（門田一繁），広島県厚生農業協同組合連合会 J A 広島総合病院 （荘川知己），社会医療法人天神会新古賀病院（川崎友裕），独立行政法人国立病院機構鹿児島医療セン ター（郡山暢之），沖縄県立中部病院（宮城唯良），社会医療法人友愛会友愛医療センター（嘉数真教），社 会医療法人仁愛会浦添総合病院（高江洲悟），社会医療法人敬愛会中頭病院（笹野幹雄），沖縄医療生活協 同組合沖縄協同病院（中村隼人）

本研究の目的	甲状腺クリーゼは、多臓器不全を呈し生命の危機に直面しうる緊急治療を要する疾患であり、急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼの中には、大動脈内バルーンパンピングや静脈脱血-動脈送血体外式膜型人工肺などの経皮的機械循環補助が有効な症例があると考えられますが、どのような症例に適しているかはまだ明らかではありません。本研究は、治療に際し機械的循環補助を必要とする急性心不全を合併した甲状腺クリーゼの特徴を究明し、治療に反映させる目的で実施します。
調査データ 該当期間	研究実施許可日より2030年3月31日まで（予定） 情報の利用を開始する予定日：研究実施許可日以降
研究の方法 (使用する資料等)	本研究は、日本循環器学会が実施する循環器疾患診療実態調査のデータベース（JROAD、JROAD-DPC）を用い、急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼ患者さんの特徴や治療内容、予後に関する解析および診療実態の把握を行う研究A、さらに研究Aから抽出された全国の施設に協力を依頼し、対象患者さんの診療内容の詳細および長期予後に関する二次調査・解析を行い、急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼの診断・治療・予後における現状の把握を目的とする研究Bの二本立てで計画されています。 【対象となる方】 全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設において、2012 年4 月1 日から2023年3月31 日に甲状腺クリーゼに対して入院加療をされた患者さんです。 (参加施設一覧：https://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/media/facility_2021.pdf) 【収集する項目】 診断名、診断時年齢、患者生年月、性別、入院日、退院日、甲状腺クリーゼ診断日、身長体重、バイタルサイン、既往歴、 心電図、レントゲン、心臓超音波、採血データ（甲状腺機能、BNP、肝機能、腎機能、生化学、血算、凝固能、血液ガス分析）、右心カテーテル検査所見、機械循環装置（大動脈バルーンポンプ法、経皮的膜型人工肺、Impella®）の使用および期間（有の場合詳細）、血液浄化法の使用および期間（持続透析濾過、血漿交換療法）、合併症・併存症、投薬内容、転帰。 本研究で収集した情報を、下記の施設で保管し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。
試料・情報の 他の医療機関への提供	【データの管理】収集したデータは国立循環器病研究センター 情報利用促進部にて厳重な管理のもと保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。 【施設名及び管理責任者】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 浅海 泰栄 連絡先：大阪府吹田市岸部新町6-1 電話 06-6170-1070 E-mail アドレス asaumiya@ncvc.go.jp 提供方法：紙媒体で情報を送付する場合は郵送、エクセルデータで情報を送付する場合は電子メール（必要に応じてパスワードによる保護を行う）で提供します。
個人情報の取り扱い	お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。
本研究に係る資金(利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	当院の問合せ窓口 聖隷横浜病院 心臓血管センター内科 富島佳之 電話：045-715-3111(代表)
備考	